

箕面市上・下水道料金等の計量、徴収等に関する業務委託に係る質問への回答について

平成27年 1月14日

No.	業務名又は項目	質疑事項	回答
1	入札説明書 9申請書等の提出 (P5)	落札の候補者は、市からの通知に伴い市の指定する期日までに、以下のとおり申請書等を提出しなければならない、とございますが、当日ではなく後日に提出すると解釈してよろしいでしょうかご教示下さい。	お見込みのとおり。後日の提出になる。
2	入札説明書 1. (6)主な業務 の執行場所	(仮称)料金センターは受注者のみの執務スペースとなるのでしょうか。ご教示ください。	一部パーテーションで区切り、必要に応じて職員が執務できるスペースを設けることも想定している。
3	業務委託仕様書 第1章第5条 (業務の執行場所)	上下水道局1階の事務室に(仮称)料金センターを置くとされています。 現在、豊川支所でもお客様サービス業務を行われていると思いますが、どのような業務を行われていますでしょうか。 その業務は、この度の「箕面市上・下水道料金等の計量、徴収等に関する業務委託」に含まれるのでしょうか。 含まれる場合、豊川支所に担当人員を配置する必要がありますでしょうか。	豊川支所においては、併任辞令により支所の職員が上下水道料金の収納及び指定金融機関への入金を行っている。また、給水停止対象者の入金があった場合は、上下水道局に連絡する体制をとっている。豊川支所における業務は今回の委託には含まれない。但し、豊川支所に出向き、領収機器として設置しているハンディターミナルに関しては、調定の都度データの更新、用紙不足の都度、その補充作業を行うこととし、これは本件業務委託に含む。
4	業務委託仕様書 第2章第13条 (委託業務の内容)	委託業務の範囲(1)～(10)に係る業務に、現在職員様や受託業者従事者様の人員体制は、何名ずつ従事されているのかご教示下さい。	委託職員として、検針員8名(常駐7～8名、繁忙期2～3名追加(検針員としては17名の登録があります。))、上下水道局職員10名((課長1、課長補佐級2名、主査級2名、一般職5名)、臨時職員1名) グループとして滞納整理4名、電算・庶務2名、統計・料金減免1名、メーター関係1名、他は兼務も含めて相互応援により委託業務の範囲(1)から(10)の業務を処理してきたところである。

箕面市上・下水道料金等の計量、徴収等に関する業務委託に係る質問への回答について

平成27年 1月14日

No.	業務名又は項目	質疑事項	回答
5	業務委託仕様書 第3章第26条の 6 (備品等の調達)	<p>発注者の敷地内に駐車場の貸与が可能か確認し、とございますが可能な場合の月額金額をご教示ください。</p> <p>発注者の敷地内に駐車場(駐輪場)の貸与が可能であった場合の駐車場(駐輪場)料金についてお教え下さい。</p> <p>貴市の敷地内を駐車場として貸与していただいた場合の、予定されている自動車1台当たりの駐車場料金、及びバイク1台当たりの駐車場料金についてご教示ください。</p> <p>委託業務で使用します車両(車、バイク)の駐車スペースは、ありますでしょうか。また、駐車スペースがある場合は、使用料は必要でしょうか。ご教示下さい。</p>	<p>受注者が業務で使用する車両のうち、原動機付自転車又は自転車については合計で最大9台分、自動車については1台分を駐車場(駐輪場)として無償で提供する。</p>
6	業務委託仕様書 (別紙1) 委託業務の業務量 (3)給水栓数	<p>検針件数はH26年度見込み件数と解釈してよろしいでしょうか、ご教示下さい。(検針件数:337,734件/年)</p>	<p>検針件数については、平成26年(2014年)版上下水道事業年報の108ページに掲載しているが、平成25年度は実績で361,625件、平成24年度の356,058件と比較して1.6%の増加があり、平成26年度もほぼ同様以上の推移があるものと見込んでいる。</p>
7	業務委託仕様書 (別紙2) 【発注者が負担 (貸与)するもの】 (11)ハンディ ターミナル	<p>8台貸与していただけるとのことですが、検針業務用・滞納整理業務用合わせて8台という理解でよろしいでしょうか。また、検針員を増員した場合、追加して貸与していただくことは可能でしょうか。ご教示ください。</p>	<p>ハンディターミナル8台が検針用、豊川支所に料金領収用に1台設置されている。なお、今後、2台の増設を予定している。</p>

箕面市上・下水道料金等の計量、徴収等に関する業務委託に係る質問への回答について

平成27年 1月14日

No.	業務名又は項目	質疑事項	回答
8	仕様書詳細総括表 (各業務当たりの 業務量)	開閉栓業務、年間開栓件数、年間閉栓件数を繁忙期月と合わせてご教示下さい。	平成25年度開栓件数(臨時用含む)7,272件(現地開栓及び指示数確認と合わせて5,600件)、閉栓件数5,771件(現地閉栓5,439件)繁忙期の3月に約1,000件の閉栓、3月4月に各700件程度の開栓の実績がある。
9		支払お願い通知書、督促用納付書、給水停止予告書、給水停止の年間件数をご教示下さい。	それぞれの件数については、平成26年(2014年)版上下水道事業年報の108～109ページに掲載していますが、平成25年度の実績として、一次督促が13,467件、二次督促が17,210件、停水予告が3,158件、給水停止通知が1,196件、給水停止が503件であった。
10	仕様書詳細(項番47-1) 料金等の収納及び徴収業務・滞納整理業務	給水停止の際に、パッキン止め・水道メーター引き上げの場合があると思いますが、注意して行っても管の老朽化や施工の不備等の理由により思わぬ漏水が発生する場合があります。その場合の修理等については、上下水道局様に行っていただけるのでしょうか。受注者の責任において行わなければならないのでしょうか。 停水解除の場合にも同様の事故が考えられますが、その場合についてもご回答お願いします。	使用者が本来修理するべきもの及び受注者の過失によるものを除いて、上下水道局の費用で対応する。
11	仕様書詳細 参考資料4	前期、後期の検針サイクルをご教示下さい。	検針サイクルは隔月検針で、前期は月初めから15日、後期は16日から月末としている。毎月検針は大口径需要者約100件分がある。仕様書詳細の参考資料4を確認されたい。
12		50mm口径以上の検針件数についてご教示ください。	平成27年1月現在で、大口径水道メーターに関しては、50mmが468件、75mmが228件、100mmが19件、150mmが7件である。

箕面市上・下水道料金等の計量、徴収等に関する業務委託に係る質問への回答について

平成27年 1月14日

No.	業務名又は項目	質疑事項	回答
13	落札者決定基準 【資料2】	(入札金額に関する評価点の算出方法について) 評価点の小数点以下は切り上げでしょうか、切り捨てでしょうか ご教示ください。	小数点第三位以下を四捨五入する。
		(市への社会貢献度について) “市との災害時応援協定”等の締結は、貴市との協定を指すもの でしょうか？それとも、現在、類似業務受託中の他自治体様 における協定締結を指すものでしょうか？	現時点で、類似業務受託中の他市における協定締結を指すもの である。なお、受注者とは当市と協定締結していただくことを予定 している。
14	(様式17) 【提案書】災害時 等における市へ の協力体制	「別紙のとおり」とし、別に作業計画書等を作成し、添付しても構 わないでしょうか。ご教示ください。	お見込みのとおり。
15	(様式20) 特定事項提案書	様式は自由ですが、とございますが、様式20は当社独自の仕様で 作成しても構わないと解釈してよろしいでしょうか。	お見込みのとおり。なお、様式20で記載を必須としている項目に 関しては、盛り込むこと。

箕面市上・下水道料金等の計量、徴収等に関する業務委託に係る質問への回答について

平成27年 1月14日

No.	業務名又は項目	質疑事項	回答																																								
16	業務委託契約書 (確保すべき収納率)	第19条現行年度98.88%、過年度分67.59%とございますが、過去5年間の過年度、現年度の収納率をご教示さい。	別紙1のとおりである。																																								
17	業務委託契約書 6ページ (委託料の減額)	<p>例)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th style="text-align: center;">調定額</th> <th style="text-align: center;">収入済額</th> <th style="text-align: center;">未収額</th> <th style="text-align: center;">収納率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">H27</td> <td style="text-align: center;">現年度</td> <td style="text-align: right;">96,300,000</td> <td style="text-align: right;">95,300,000</td> <td style="text-align: right;">1,000,000</td> <td style="text-align: right;">98.96%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">過年度</td> <td style="text-align: right;">7,900,000</td> <td style="text-align: right;">5,350,000</td> <td style="text-align: right;">2,550,000</td> <td style="text-align: right;">67.72%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,550,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">現年度</td> <td style="text-align: right;">97,300,000</td> <td style="text-align: right;">96,400,000</td> <td style="text-align: right;">900,000</td> <td style="text-align: right;">99.08%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">過年度</td> <td style="text-align: right;">3,550,000</td> <td style="text-align: right;">2,200,000</td> <td style="text-align: right;">1,350,000</td> <td style="text-align: right;">61.97%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,250,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>記載した表は収納率推移の例です。 27年度に現年度、過年度において滞納整理に一定の成果を挙げた場合、翌28年度の過年度分については、未収合計金額を130万円削減させているにも関わらず、過年度収納率は確保すべき収納率を下回ってしまうという例です。 この例では、確保すべき収納率(67.59%)を5.62%下回ってしまう為、449.6万円の委託料の減額が発生してしまいますが、このような場合は「委託料の減額なし」等のご配慮はしていただけるのでしょうか。ご教示お願いします。</p>			調定額	収入済額	未収額	収納率	H27	現年度	96,300,000	95,300,000	1,000,000	98.96%	過年度	7,900,000	5,350,000	2,550,000	67.72%	合計				3,550,000		H28	現年度	97,300,000	96,400,000	900,000	99.08%	過年度	3,550,000	2,200,000	1,350,000	61.97%	合計				2,250,000		<p>○上下水道料金の請求は過年度と現年度まとめて請求する。従って、過年度の古い分よりまず入金する。 ○過年度収納率が極端に下がるという想定に関しては、別紙1から判断されたい。 ○委託料の減額については、算定年度をまたぐこと、現年度分と過年度分を総合考慮して算出する方法にはなっていません。</p>
		調定額	収入済額	未収額	収納率																																						
H27	現年度	96,300,000	95,300,000	1,000,000	98.96%																																						
	過年度	7,900,000	5,350,000	2,550,000	67.72%																																						
合計				3,550,000																																							
H28	現年度	97,300,000	96,400,000	900,000	99.08%																																						
	過年度	3,550,000	2,200,000	1,350,000	61.97%																																						
合計				2,250,000																																							